

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	その他のサー ビス [レンタ カー] (営業担 当)	来客数の動き	・ 3月も2月に引き続き、沖縄キャンペーンを行って いる旅行代理店からの送客数が伸びており、前年同月 比115%と好調に推移している。
	やや良く なっている	一般小売店 [鞆・袋物] (経営者)	来客数の動き	・ 例年より新入学生、新入社員用の商品が売れてい る。
		コンビニ (経営 者)	競争相手の様子	・ 近隣のスーパーがリニューアルのため休業してい るので、来客数、売上共に増加している。
		その他飲食 [居 酒屋] (経営 者)	来客数の動き	・ 去年の同月に比べて、3%ほど来客数が増加してい る。3~4か月前は飲酒運転の罰則強化で平日に来客 数が伸びず、週末に無理して客を入れていたが、今月 は、平日の来客数がコンスタントに増えてきているの で、サービスの質を落とすことなく営業できている。
		観光型ホテル (営業担当)	単価の動き	・ 子供連れの家族客が結構あり、客室単価を押し上げ ている。
		通信会社 (店 長)	販売量の動き	・ 客の買い控えが少なくなっている。
	変わらない	一般小売店 [衣 料品・雑貨] (経営者)	販売量の動き	・ 売上高前年同月比92%と売上高は減少しているが、 2006年度は例年とは売上動向が変わっている。来客数 も日ごとに変動が激しく計画が立てにくい状況にあ る。観光客の動きが季節に関係なく分散されたのが要 因として考えられる。売上は例年では冬に少なく夏に 極端に多くなる傾向があるが、冬に伸びて夏が落ちる 傾向に変わっているため、売上状況に変動がみられ る。
		百貨店 (担当 者)	単価の動き	・ 3月は2月の新生活や春衣料の好調を維持すると予 想していたが、衣料品を中心に苦戦している。要因と しては前年3月に婦人衣料を中心に大きな改装を行 い、本年は特に改装を行わなかったことの反動が出て いることと、月初より気温が上がらず天候不順が続 き、婦人服全般において2~5%悪化していることが 上げられる。全館的には来客数はほぼ前年並みを維持 しているが天候要因から婦人服において購買客数が6 ~7%減少している。
		コンビニ (エリ ア担当)	販売量の動き	・ 客単価がこのところ前年並みで推移している。無駄 遣いしないという消費動向は変わらない。ただし今月 は週末毎の悪天候が売上減少の要因となり、特にドリ ンクや菓子、米飯類が影響を受けた。また、卒業式等 のイベント需要も年々減っている。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・ 前年と比べて、購買客数は変わらないが回遊客が若 干減っている。
通信会社 (サー ビス担当)		客の様子	・ 売上に限っては前年並みである。新入学生、新入社 員が新機種に飛びついてくる様子もあまり無く、特別 に好況とは感じられない。	
観光名所 (職 員)		来客数の動き	・ 施設利用者は、3か月前の平成18年12月は前年同月 比で109.9%である。今月は1月25日現在で109.5%と ほぼ同程度の伸びとなっている。3月は1年で最も施 設利用者が多い月である。沖縄観光は順調に推移して いる。来園者は一般団体、家族連れ等が中心である。	
		ゴルフ場 (経営 者)	来客数の動き	・ 地元客は基本的には変わらないが、県外からの来客 数は例年の冬に比べると暖冬の影響で減っており、九 州の方へ移っている。沖縄全体で約10%減少、九州は 15%増加しているのが現状である。
やや悪く なっている		その他専門店 [楽器] (経営 者)	販売量の動き	・ 合格発表後の入学シーズンの販売需要が感じられな い。日曜日の歩行者天国で集客自体は好調だが、売上 にはまだつながっていない。季節のイベントは今まで の感覚と違っている。
悪く なっている				
企業 動向	良く なっている	-	-	-

関連	やや良くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築、リフォームの契約件数がやや増えてきた。
		コピー業（代表者）	受注価格や販売価格の動き	・昨今厳しい競争が続いている中で、業績を上げていくことは、これまでとは異なり想像以上に大変である。今までは製造原価比率が72%で維持できたが、2007年2月現在での原価比率は93%になった。仕事をやればやるだけマイナスになり、今後ますます悪くなるのではないかと不安も募る。
	変わらない	食料品生産業（管理部門）	受注量や販売量の動き	・円安と金利の上昇で今後も現状を維持する。
		通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量はコンスタントだが、回線単価の安い需要が相対的に増加しているため、売上増にはつながらない。コールセンター事業の伸びに伴う回線需要は安定している。
	やや悪くなっている	会計事務所（所長）	取引先の様子	・小売業においては、客数は微増してるが客単価が上がらず収益性の向上が難しい。
輸送業（営業・運営担当）		受注価格や販売価格の動き	・取引先において、経営改革に伴う物流費削減による委託料金削減、特に大型の取引先でこのような改革が進められているため、収支改善が急務となっている。	
雇用関連	悪くなっている	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年では年度末の駆け込み需要が見込める時期であるが、今年は官公庁を始め、民間企業でもその動きが見受けられず、各媒体への出稿額は前年を下回っている。
		-	-	-
	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・2月は稼働日数も少なく、一般的には売上・利益が伸びず、やや減少する月だが、例年よりはるかに良い数字を計上した。3月に入っても引き続き依頼の問い合わせが多く、幅広い需要を感じる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・IT関連企業を中心に新卒採用の動きが非常に活発である。特に県外企業に関しては地元で採用できず、沖縄での採用活動を始めている企業が増加している。
学校〔大学〕（就職担当）		求人数の動き	・県内企業の大多数が2006年度より雇用を増やす、少なくとも現状維持するという予定である。また、企業合同説明会では採用側と学生側が共に熱気が出ている。更に県が雇用目標を達成するために様々なワーキンググループを召集、開始しているので雇用環境が大変明るく、かつ改善基調にある。	
変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	求職者数の動き	・求人数はさほど変わらず、求職者の動きも停滞気味である。	
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・昨年11月においては、新規求人倍率が前年同月比で0.13%ポイント下降したが有効求人倍率が0.02ポイント上昇している。ところが今期2月においては新規求人倍率が前年同月比で0.11%ポイント下降、有効求人倍率も0.10ポイント下降している。	
悪くなっている	-	-	-	